

2024 矢巾町国際交流事業

第28回アメリカ・フリモント町 中高生海外派遣報告書



矢巾町国際交流協会

《目 次》

アメリカ・フリモント町派遣団名簿	1
アメリカ・フリモント町派遣旅程表	2
29 周年目のフリモント訪問	団長	木村 毅..... 3
フリモント町派遣事業報告	引率教員	及川 瑞恵..... 7
フリモントに行って	岩手県立不来方高等学校 1 年	小綿 徠斗.....11
国を超えて	矢巾町立矢巾中学校 2 年	川村 絆維.....15
思い出の 11 日間	矢巾町立矢巾北中学校 2 年	佐々木 莉暖...19
フリモント派遣事業を通して	矢巾町立矢巾北中学校 2 年	藤原 小瑚.....23

2024 0 G ' < 4 E É " Ç ø P

Nb	¶ i	Û / i	É Þ ® å	presentation title	Í « ° ›
1	G f S } 8 \) e ™ O	Y ¶ % 9 x /	> G v	New Year	Troy Ramsey
2	? f t } A 8] §)) T	% ® u p Û /	¾ í b > & • ~	Tohoku festivals	Natalie Christoffersen
3	I I A € b ‡ , Œ, Å .	% ® u í p Û /	¥ • b) + e ì	Japanese traditional culture	Paisley Hendrie
4	i L f } G G .(N ` # Z	% ® u í p Û /	ô y	Japanese clothes	Addysen Plotts
5	A t } S E K Œ § Ž	K 6 x			Jim Welsh
6	> 8 ? f s N < I] # ^ (, " á M (Stacey Crooks

旅程表

矢巾町国際交流協会事業 2024 年度フリモント町派遣

日数	日付	都市	発着	時間	交通機関	スケジュール	食事
1						集合:盛岡駅南改札口付近 5:50	
		盛岡駅	発	6:10	はやぶさ102	東北新幹線にて東京駅へ	朝:各自
		東京駅	着	8:56			
		東京駅	発	9:04	京浜東北線	京浜東北線又は山手線にて浜松町駅へ	昼:各自
		浜松町駅	着	9:11			
		浜松町駅	発	9:17	モノレール	東京モノレールにて羽田空港第三ターミナルへ	夕:-
	10月24日	羽田空港第三T	着	9:35			
	(木)	羽田空港第三T	発	11:30	JL010	日本航空にて出発(フライト時間約11時間40分)	
		シカゴ空港	着	9:10		到着後、税関・入国審査	
		シカゴ空港	発	13:18	AA6182	シカゴ空港に乗換(フライト時間約1時間)	
		グランドラピッズ空港	着	15:16			
					送迎車	到着後、専用車にてフリモントへ	
						宿泊:フリモント ホームステイ	
2 ~ 9	10月25日	フリモント				フリモント町滞在	朝:-
	(金)					交流プログラム実施	
	~						昼:-
	11月1日					宿泊:フリモント ホームステイ	
	(金)						夕:-
10		フリモント			送迎車	専用車にて空港へ	朝:-
				4:50		空港到着	
	11月2日	グランドラピッズ空港	発	7:00	AA2410	アメリカン航空にて出発(フライト時間約1時間)	昼:機内
	(土)	シカゴ空港	着	7:09			
		シカゴ空港	発	11:20	JL009	シカゴ空港に乗換(フライト時間約13時間35分)	夕:機内
						宿泊:機内泊	
11		羽田空港第三T	着	14:55		到着後、税関・入国審査	
		羽田空港第三T	発	17:34	モノレール	東京モノレールにて浜松町駅へ	
	11月3日	浜松町駅	着	17:48			
	(日)	浜松町駅	発	17:51	山手線	京浜東北線又は山手線にて東京駅へ	
		東京駅	着	17:57			
		東京駅	発	18:20	はやぶさ41	東北新幹線にて盛岡駅へ	
		盛岡駅	着	20:33			

29 周年目のフリモント訪問

派遣団代表 矢巾町国際交流協会 会長 木村 毅

矢巾町とフリモント町が友好都市協定を締結してから来年で30周年になります。以来、コロナ禍の影響があったものの、これまで28回の生徒派遣交流が継続されてきました。これまでに矢巾町から派遣された人は388人となります。その結果、矢巾町にとってもフリモント町にとってもお互いに両町が馴染みのある町名となっているようで、フリモントの街を歩いたりレストラン、スーパーマーケットなどを訪れたりした際に、町の人々に親しそうに話しかけられることが多くありました。これまで続けてきた交流が多くの町民に知れ渡り同時に友好的に受け止められているのだろうという実感を持つことができました。

今回の生徒海外派遣事業を実施するにあたって、大きな課題となったのが外国為替レートの激しい変動で円安の状況が続いていたことでした。派遣費用の見積りを作成してもらったところ、当初予定していた予算をはるかに超える資金が必要になることがわかり、町交流協会内でも議論となりました。結果的には、派遣に大きな期待を寄せている生徒たちの望みに応えるには、矢巾町国際交流協会の設置目的である「人材育成のために国際交流活動を推進する」という観点から、今回の派遣事業の実施に踏み切った次第です。ただ、財政負担を軽減するために、派遣生徒を中学生3人、高校生1人とし、従来の計画で実施してきたワシントンD.C.の見学を削除しての旅行計画があり、おそらく生徒達も楽しみが少し減って寂しかったかもしれません。しかしながら、初めてのホームステイで戸惑いながらも、大変楽しく忘れがたい体験をたくさんしたようです。また、フリモントの各学校では、準備していったプレゼンテーションを立派に披露し高い評価を得ることができました。

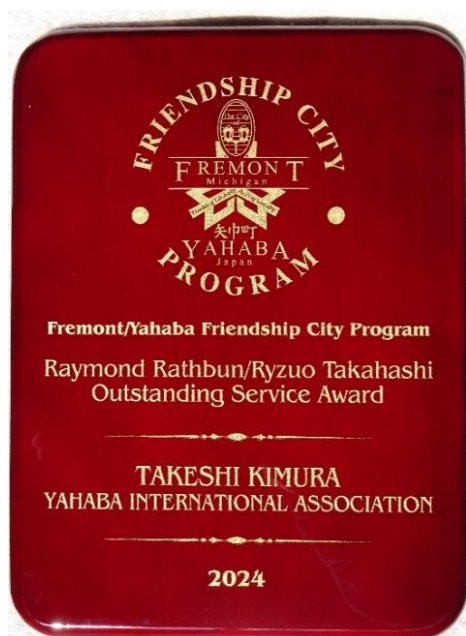
今回の交流プログラムでも大変多くの皆さんにご尽力をいただきました。町マネージャーのトッドM.ブレイク氏には自由に市庁舎（市役所・消防署・警察署）を見学させていただきました。またミドルスクールとハイスクールの両校長先生には立派な合同歓迎会を企画していただきました。スタッフの先生たちにも全面的に協力をしていただき、すべての授業の参観もオープンにさせていただきました。さらに、レイモンド・ラズバーン町長から個人的に顕著な功績者として表彰盾^{*1}までいただき、フリモントの町を挙げて矢巾町との交流を評価していただいていることを実感しました。

一方、ホストファミリーの皆様にも温かい配慮をしていただき、生徒たちにとって忘れがたいアメリカ生活を経験することができたと思います。また、矢巾町とフリモント町との交流を立ち上げて以来、毎年お世話いただいているローレン・エドワード氏（フリモント町国際交流事業の担当者）には、生徒たちのプレゼンやアクティビティに対する評価や課題を丁寧に指導していただき、この交流プログラムの継続に対する強い意気込みを感じさせてくれました。さらに、到着・出国の際のバスでの送迎までお世話をいただきました。心から感謝しております。

さて、私自身のフリモント町での交流体験は10年ぶりで3回目の訪問となりました。10年間で物価も上がり、町の様子も少しずつ変化しているように感じました。大規模なスーパーやレストランが新設され、ゴルフ場のオーナーが変わったり、学校の施設設備が充実したり…。それでも、街ではアーミシュの馬車が相変わらず馬の蹄の音を響かせて車道をのどかに走っていました。折からの大統領選挙のあわただしい中でも、町の人々はゆっくりと時代の流れとともにこれまでの生活を繰り返し、互いに思いやりを持ちながら楽しく暮らしている面は変わっていません。「いい街だなあ」と、一人感慨に耽ってしまいました。

私のホストはジム・ウェルシュさんとレスリー夫人、それにドイツ・シェパード種の大型犬マックスでした。ジムさんはミドルスクールの科学の教員、レスリーさんは救急病院の看護婦さん。ウェルシュ家は100年以上にわたって代々このフリモント町で広大な農場を維持してきており、子供たちは自立して近隣で暮らしていました。この農場でハロウィーンの前日に矢巾の生徒達やホストファミリーの生徒と親たちを招いてジャックオーランタンの彫刻^{*2}をしたり、農場で「ヘイ（干し草）ライド」をし、焚火、ホットドック、サモアで楽しませてくれました。他にも、休日には北部のミシガン湖とヒューロン湖をつなぐ海峡に架かるマキノ橋^{*3}、ボイン山のスキー場に架かるつり橋、クロップスコット環境センター、ヘリテージファーマーズマーケットなどに連れ出してくれました。私にとっては全て初めての場所であり、新たなアメリカの風景であり、アメリカの歴史と文化の新たな側面であり、脳裏にしっかりと焼き付いてしまうような風景でした。

最後に、この文化交流事業がこれまで続いてきたことは、矢巾町とフリモント町の人々の熱意と信頼関係がゆるぎなかったからだろうと思います。今後もより多くの人々がこのプログラムに参加し、国際交流がそれぞれの人々の人生に新たな発見や喜びをもたらしてくれることを願っています。



*1 フリモント町よりの表彰盾



*2 ハロウィーンのジャックオーランタンのデザイン



*3 ミシガン湖とヒューロン湖をつなぐ海峡に架かるマキノ橋

29th Anniversary Visit to Fremont

Representative of the Delegation,

Chairman of the Yahaba Town International Exchange Association

Kimura Takeshi

Next year will mark the 30th anniversary of the signing of the friendship city agreement between Yahaba and Fremont. Since then, 28 student exchanges have been held, despite the impact of the COVID-19 pandemic. So far, 388 people have been sent from Yahaba to Fremont. As a result, it seems that the names of both towns are familiar to both Yahaba and Fremont, and when walking around Fremont or visiting restaurants and supermarkets, people in the town often talk to us in a friendly manner. We were able to get a sense that the exchanges that have continued so far are well known to many townspeople and are viewed with kindness at the same time.

A major challenge in implementing this student overseas dispatch project was the continued depreciation of the yen due to the drastic fluctuations in foreign exchange rates. When we asked a travel agency to prepare an estimate of the dispatch costs, we found that we would need funds far beyond the initial budget, which became a topic of discussion within the town exchange association. As a result, in order to meet the hopes of the students who had high expectations for the dispatch, we decided to carry out this dispatch project from the perspective of the purpose of establishing the Yahaba Town International Exchange Association, which is to "promote international exchange activities for human resource development." However, to reduce the financial burden, the students were sent as three junior high school students and one high school student, and the tour of Washington D.C. that was originally planned was eliminated, so the students may have felt a little less excited and lonely. However, despite their initial confusion as it was their first homestay, they seemed to have had many enjoyable and unforgettable experiences. In addition, the presentations they had prepared were well presented and highly praised at each school in Fremont.

Many people also made an effort to make this exchange program possible in Fremont. Town Manager Todd M. Blake allowed us to freely tour the town hall (city hall, fire station, and police station). The principals of both the middle school and high school also planned a wonderful joint welcome party. The teachers on staff also cooperated fully, and all classes were open to us. Furthermore, Mayor Raymond Rathburn personally awarded us a plaque for outstanding achievements, and we realized that the entire town of Fremont values our exchange with Yahaba.

On the other hand, the host families were also very considerate and I think the students were able to have an unforgettable experience of life in America. Also, Mr. Lauren Edwards (in charge of the Fremont Town International Exchange Program), who has been looking after us every year since the exchange between Yahaba and Fremont was launched, carefully guided the students' presentations and activities and assignments, and we could feel his strong enthusiasm for

continuing this exchange program. Furthermore, he even took care of the bus transportation when we arrived and left Fremont. We are truly grateful.

Now, this was my third visit to Fremont Town, and the first in 10 years. Prices have risen in the last 10 years, and it seems that the town has changed little by little. Large supermarkets and restaurants have been built, the golf course owner has changed, and the school facilities have been improved... Still, in the town, Amish carriages were still running peacefully down the road with the sound of horses' hooves. Even in the midst of the hustle and bustle of the presidential election, the people of the town seem to be quietly repeating their old lives as times have passed, and the aspect of living happily while being considerate of each other has not changed. "What a nice town," I thought to myself, lost in thought.

My hosts were Jim Welsh and his wife Leslie, along with their large German shepherd dog, Max. Jim is a middle school science teacher, and Leslie is a nurse at an emergency hospital. The Welsh family has maintained a vast farm in Fremont for over 100 years, and their children have lived independently in the neighborhood. On the day before Halloween, they invited the students of Yahaba and the students and parents of their host families to carve jack-o'-lanterns, take a hay ride on the farm, and enjoy a bonfire, hot dogs, and S'moas. They also took us to the Mackinac Bridge, which spans the strait connecting Lake Michigan and Lake Huron in the north, the suspension bridge over the Boyne Mountain ski resort, the Kropscott Environmental Center, and the Heritage Farmers Market. These were all new places for me, new American scenery, and new aspects of American history and culture; the scenery is sure to stay etched in my mind.

Finally, I believe the reason this cultural exchange project has continued this long is because of the unwavering enthusiasm and trust between the people of Yahaba and Fremont. I hope that more people will continue to participate in this program, and that international exchange will bring new discoveries and joy to each person's life.

フリモント町派遣事業報告

矢巾町立矢巾北中学校教員 及川 瑞恵

アメリカの家庭で過ごし、現地の学校でプレゼンテーションを行った矢巾町の中高生4名にとって、フリモントでの10日間は忘れられない経験となったことでしょう。

10月24日に出発し、長時間のフライトを経てグランドラピッズ空港に到着しました。その後、バスでフリモントへ移動し、各生徒はそれぞれのホストファミリーと対面しました。緊張した面持ちの生徒達でしたが、ホストファミリーの温かい歓迎を受け安心したようでした。

次の日は、ミドルスクールでの歓迎会に出席しました。盛大に歓迎して頂き、とても感激したと同時に、現地での私たちに対する期待の大きさを感じました。

週が明け滞在4日目の月曜日から、生徒達は

ミドルスクールとハイスクールに分かれ、日本文化に関するプレゼンテーションを行いました。それぞれのテーマについて、生徒達は事前に準備してきた資料やスライドを用いて、英語で発表しました。初めは緊張して声が小さく、原稿を見ながら発表している生徒も、回を重ねるうちに自信を持って発表できるようになっていきました。また、ジェスチャーを効果的に使うことで、聴衆の注意を引きつけ、プレゼンテーションをより円滑に進めることができるようになった生徒もいました。あるプレゼンテーションでは、後半に書道の実演を行いました。現地の生徒にも筆で書く体験をする時間を取りました。初めて筆を持つ生徒も多く、最初は戸惑っていましたが、徐々に慣れてくると楽しんでいました。この活動を通して、現地の生徒との距離がぐっと縮まったように感じました。現地の生徒達は日本の文化に興味津々の様子で、プレゼンテーション後には多くの質問が寄せられることもありました。質疑応答を通して、日米の文化について相互理解を深めることができました。



7日目は、午前小学校を訪問しました。グレード5の5クラスに行き、折り紙を教えて交流をしました。とても活発な子供たちが多く、たくさんの質

問が飛び交い楽しい交流会となりました。

今回の訪問では、多少個人差はありますが、プレゼンテーションを通して生徒達の英語力は確実に向上しました。それが自信となり、フリモントの生徒や先生達とのたくさんの交流につながったと思います。また、現地の生徒達にも日本の文化に触れる機会をたくさん提供でき、矢巾町との交流事業を大きく印象付けることができました。

一方で、翻訳機に頼りすぎてしまう場面も多々あり、コミュニケーションの本質を見失ってしまうという課題も浮き彫りになりました。翻訳機はあくま



でコミュニケーションの補助ツールであり、最終的には自分の言葉で伝えようとする努力が重要であることを、生徒達に十分に理解させる必要性を感じました。今後は、渡航前のオリエンテーションでコミュニケーションの重要性について改めて説明するとともに、現地でも積極的にコミュニケーションを取るように促すことが必要だと感じました。

最後に、この 10 日間の訪問を通して、私自身も本当に多くのことを学び、経験することができました。温かく迎え入れてくれたホストファミリー、快く授業の見学を受け入れてくれたミドルスクールとハイスクールの先生方、そして日本や矢巾町についてたくさん知りたくて話しかけてくれた現地の生徒達との交流は、私にとってかけがえのない宝物です。このような貴重な機会を与えてくださった関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。次年度 30 周年の節目を迎える矢巾町とフリモントの交流事業が、今後もますます発展し両町の友好関係が深まることを心より願い、報告を終わります。



Cultural Exchange in Fremont

Mizue Oikawa

For the four junior and senior high school students from Yahaba who spent time with American families and gave presentations at local schools, their 10 days in Fremont was an unforgettable experience.

We departed on October 24th and after a long flight finally arrived at Grand Rapids Airport. After taking a bus to Fremont each student met their respective host family. Although the students looked nervous at first, they seemed to relax after receiving warm welcomes from their host families.

The next day, we attended a welcome party at the middle school. We were greatly surprised by the warm welcome and felt the high expectations the local community had for us.

Starting from the following Monday the students were divided into middle school and high school groups and gave presentations on Japanese culture. Using materials and slides they had prepared in advance the students gave their presentations in English. At first, some students were nervous and spoke softly while reading from their scripts, but as they gained experience, they became more confident in their presentations. Some students were also able to effectively use gestures to capture the audience's attention and deliver their presentations more smoothly.

In one presentation, they demonstrated calligraphy. They also gave the local students an opportunity to try writing with brushes. Many of them had never held a brush before and were initially hesitant, but as they got used to it, they began to enjoy it. Through this activity, they began to feel closer to the local students. The local students were very interested in Japanese culture and asked many questions after the presentations. Through the question-and-answer session, we were able to deepen our mutual understanding of Japanese and American cultures.

On the seventh day, we visited an elementary school in the morning. We visited five fifth-grade classes and taught origami. There were many energetic children, and there was a lively exchange of questions, making it a fun interaction.

Through the presentations, although there were some phrases different to what they had learned the students' English skills improved significantly. This gave them confidence, leading to many interactions with Fremont students and teachers. We were also able to provide many opportunities for local students to experience Japanese culture, making a strong impression of Yahaba's exchange program.

On the other hand, I also found that some students relied too much on translation devices, losing sight of the essence of communication. I realized that it is important to make students fully understand that translation

devices are merely tools to assist communication and that the ultimate goal is to try to communicate directly in their own words. In the future, it is necessary to reiterate the importance of communication during pre-trip orientations and encourage students to actively communicate while they are there.

Finally, I myself learned and experienced a great deal. The warm welcome from the host families, the cooperation of middle school and high school teachers who allowed us to observe their classes, and the interactions with local students who were eager to learn about Japan and Yahaba are all invaluable treasures to me.

I would like to express my sincere gratitude to all those involved for providing such a valuable opportunity. The exchange program between Yahaba and Fremont will celebrate its 30th anniversary this year. I sincerely hope that it will continue to grow and deepen the friendship between the two towns.

Thank you very much.

フリモントに行って

岩手県立不来方高等学校 1 年 小綿 徠斗

私はフリモント派遣事業に参加し自分の肌で「外国」というものを感じてきました。私がこの派遣事業に参加したきっかけはホストファミリーをしたときのことです。ホストファミリーをしたときの受け入れた友達が一緒に居る時にものすごく楽しくて次は私がフリモントに行きたいなと思ったのがきっかけです。もう一度その友達に会いたいと思って行きましたが残念ながらその友達はドイツに留学していました。友達との再会は果たせなかったものの楽しいことはその他にもありました。

ホストファミリーの方々はいつも親切にしてくれました。そのおかげで不自由なく過ごすことができました。ホストマザーは役所に勤めていていつも私のお世話をしてくれました。ホストファザーは腕を怪我していてずっと家にいました。休日に車で色々な所に連れて行ってもらいました。ホストブラザーのトロイは友達が多く陽気な性格をしていました。トロイの姉は本当に自分と同じ歳なのかと疑うぐらい大人に見えました。ホストファミリーのおかげでホームシックにならず最後まで帰りたくないと思えるぐらい楽しい経験をさせてもらいました。

学校では私はプレゼンテーションをしました。一番初めは緊張してうまくできなくて今でも悔しいと思っています。はじめのうちは疲れたりしてやる気が出なかったけどプレゼンを聞いている時のみんなのリアクションが豊かでプレゼンをしていてストレスがなく笑顔でプレゼンをやり抜くことができました。日本だと静かによく聞くみたいな感じだったけどアメリカは自己表現やリアクションが多く、どちらかというのにぎやかな雰囲気でした。私は絶対にリアクションとかせてもらって賑やかにやりたいと思いました。

私のプレゼンの内容は日本の正月についてです。お正月の準備から過ごし方、食文化、年賀状など多く日本文化を伝えてきました。その他にも私の友達家族矢巾町とはどんなところかなどを知って貰いました。アクティビティでは生徒のみんなに年賀状を書いてもらいました。みんなそれぞれ個性的なデザインやアイディアが見られてとても見ごたえがありました。

少しでも生徒や先生に矢巾町や日本文化を知ってもらったらいいなと思いました。そしてもっと矢巾町や日本文化に興味を持って矢巾町に来るきっかけになればいいなと思いました。



アメリカでの学校生活はすごくいいものでした。ホストブラザーのトロイと一緒に授業を受けました。物理、歴史、スペイン語、数学、工作、英語を受けました。英語だから理解できるかなと心配でしたがすでに習っていたところもあってなんとなく理解でき良い英語の勉強にもなりました。スペイン語では新たな言語と触れ合い新たな発見や今後につながるヒントを見つけることができました。不來方高校の外国語学系では第二外国語を習得でき、何の言語にしようか迷っていたのでこの経験を生かして選択しようと思いました。



授業以外の学校生活はものすごく楽しかったです。トロイは友達がたくさんいて私は多くの友達に歓迎され、たくさん友達ことができました。そのほかにも自分がホストした時に一緒に来た友達とも再会しました。昼食はみんなと話しながら食べました。はじめは耳が慣れなくて何を言っているかが全く分からなかったけど日を重ねるにつれて聞き取れるようになりました。放課後も友達とバスケットをしたりゴルフカーに乗って遊んだりしました。今までの私は英語を書くことでしか使えずコミュニケーションで使うことが少なかったのが今の英語コミュニケーションの能力を知ることができました。まだまだ発展途上でもっと英語でコミュニケーションを取りたいと思いました。

私はこの派遣事業を通して多くのことを学びました。プレゼンをしたときに生徒のみんなが興味を持って聞いてくれていたところを見てどうやってこのフリモントと矢巾町の友好関係が続いてきたかがよくわかりました。私はこの経験を単なる思い出として終わらせることなく進路や今後の目標学習にも繋げていきたいと思いました。

Great experience about Fremont

Raito Kowata

I participated in the Fremont dispatch program and experienced “foreign culture” firsthand. The reason I joined this program was my experience as a host family. When I hosted a student, I had so much fun spending time together that I thought, “Next time, I want to go to Fremont myself.” That was my motivation for joining. I also wanted to see my friend again, but unfortunately, they were studying abroad in Germany. Although I couldn’t reunite with them, I still had many enjoyable experiences.

My host family was always kind to me, which allowed me to spend my time there comfortably. My host mother worked at a government office and took great care of me. My host father had injured his arm and was at home most of the time, but he took me to various places by car on weekends. My host brother, Troy, was very sociable and had many friends. Troy’s older sister looked so mature that I couldn’t believe we were the same age. Thanks to my host family, I never felt homesick, and by the end of my stay, I didn’t want to leave.

At school, I gave a presentation. The first time, I was so nervous that I didn’t do well, and I still regret it. At first, I felt exhausted and lacked motivation, but the students’ expressive reactions while listening to the presentations made it easier and more enjoyable for me. In Japan, people tend to listen quietly, but in the U.S., self-expression and reactions are more open, creating a lively atmosphere. I wanted my audience to react and engage enthusiastically, and I was able to present with a smile.

My presentation was about the Japanese New Year. I shared information about preparations, customs, food culture, and New Year’s cards, introducing various aspects of Japanese traditions. I also talked about my friends, family, and my hometown, Yahaba Town. As an activity, I had the students create their own New Year’s cards. Each student came up with unique and creative designs, which were fascinating to see. I hoped that through my presentation, the students and teachers would learn more about Yahaba and Japanese culture and that it might even inspire some of them to visit Yahaba someday.

My experience at school in the U.S. was wonderful. I attended classes with my host brother, Troy, including physics, history, Spanish, math, woodworking, and English. I was initially worried about understanding the lessons in English, but since some of the topics were things I had already studied, I was able to follow along, making it a valuable learning experience for my English skills. In Spanish class, I was exposed to a new language, which gave me new insights and hints for the future. At Kozukata High School, we can learn a second foreign language, and I was unsure which language to choose, but this experience helped me make my decision.

Outside of classes, school life was incredibly fun. Troy had many friends, and they welcomed me warmly, so I made many new friends. I also reunited with friends I had hosted in Japan. During lunch, I enjoyed talking with everyone. At first, I couldn't understand much because my ears weren't used to English, but as the days went by, I became able to comprehend more. After school, I played basketball with friends and rode around on a golf cart. Before this trip, my use of English was mostly limited to writing, and I hadn't had many opportunities for real communication. Through this experience, I realized my current level of English communication skills and felt motivated to improve further.

Through this program, I learned a lot. Seeing how interested the students were during my presentation helped me understand why the friendship between Fremont and Yahaba has lasted for so long. I want to make the most of this experience, not just as a memory but as something that influences my future goals and studies.

国を超えて

矢巾町立矢巾中学校 2 年 川村 絆唯

私は今回のフリモント派遣事業を通して多くの学びや体験がありました。

初日、新幹線に乗った時から緊張していました。そこから、約 13 時間かけアメリカに到着しました。空港では初めて英語で会話して商品を注文しなくては行けなく、お金の使い方も曖昧なまま挑戦をしてみました。自分の知っている単語、手の動きなどを使い無事に注文することができました。挑戦してみることは大切だと感じた瞬間でした。これからの 11 日間は、言語、景色、様々なことが日本と違う日々が始まるんだなと思いました。

その後、小さな空港につき、ホストファミリーのナタリー一家が快く迎え入れてくれました。フリモント町に着くまでバスに乗って移動しましたが、ホストファミリー運転手さんが音楽ノリノリですぐに心を開くことができました。家に到着し、家族に挨拶をしました。ナタリーの家は兄弟が多く、一人一人に英語で挨拶をするのが少し緊張しましたが、とてもフレンドリーに接してくれて安心しました。日本のお土産を渡した時にはとても喜んでくれました。

次の日、フリモントの中学校で歓迎会をしてもらい、中学生の素晴らしい楽器演奏をみることができました。町の消防署や警察署、市役所を見学した時に、市役所には矢巾町のものがたくさんありました。夜は、アメリカンフットボールを見に行き、映画でしか見たことのなかったのでもとてもワクワクしました。



26 日はお化け屋敷に行き、日本では感じることをできないスリルを体験しました。

27 日、初めてのプレゼンテーションで、緊張と不安を抱えたまま一回目のプレゼンに挑みました。噛んでしまうところも多く課題が見つかりましたが、ナタリーと相談しながらきれいな発音の仕方などを教えてもらい、3 回目ほどでほとんど噛まず、うまくやることができました。通常授業も受け、難しい問題もたくさんありましたが、数字を見たり調べながらやってみると解くことができてよかったです。体育を行ったときには「KII！」や「PASS !!」など簡単な単語を使ってくれ楽しくできました。

31 日には、沢山の教育施設に行きハロウィンのお菓子を小学生や保育園児に配り、様々な年代の人たちと交流を交わすことができ学ぶことも増え

ました。放課後には、仮装をし、たくさんの家を訪れました。

学校最終日にはたくさんの人が挨拶をしてくれるようになり馴染めたんだなと実感しました。ある女の子はキャンディーをくれ、ある男の子は「I was able to write kanji well !」 「漢字がうまくかけた！」と言い見せてくれました。このような会

話を日に日に続けることが友好的姉妹校をつくっていくものなんだなと思いました。

私は今回の派遣事業を通して学べること、身につく力がたくさんあったと思いました。例えば、慣れない中、不安もたくさんあったけれど英語で話す時にどういう風に伝えればいいのか分からなくなり、あやふやな文になってしまうことがありました。しかし、無理に文にするのではなく簡単な単語だけを使ってみても意外と伝えることができるんだなと感じました。分からないからと諦めるのではなく、自分の知識をどう伝え、どう挑戦して会話を成り立たせるのかが大切だなと感じました。そして、自分の成長や、将来に役立つ機会がたくさんありました。国を超えても私達は交流していく、仲を深めていくことは子供同士でもできるんだなと感じました。今回の派遣を通して今後の生活につながれたらと思いました。

不安いっぱいの中、暖かく迎え入れてくださったホストファミリーの皆様、矢巾町国際交流事務に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。



Across the Country

Kii Kawamura

I learned and experienced a lot through this Fremont dispatch program. I was nervous from the moment I got on the bullet train on the first day. From there, it took about 13 hours to arrive in the United States. At the airport, for the first time, I had to speak English and order items in English, and I was not sure how to use money, but I was able to successfully order using words and hand movements that I knew. It was a moment that made me realize how important it is to try. I knew that the next 11 days would be different from Japan in language, scenery, and many other ways.

After that, we arrived at the small airport, where our host family, Natalie and her family, welcomed us with open arms. We took a bus to get to the town of Fremont, and I was immediately able to open up to my host family and the driver, who was a music groovy guy. We arrived home and greeted the family. Natalie's family has many brother and sister, and I was a little nervous to greet each of them in English, but they were very friendly and made me feel at ease. They were very happy when I gave them Japanese souvenirs.

The next day, we had a welcome party at a junior high school in Fremont, where we were able to see the junior high students play wonderful musical instruments. When we visited the town's fire station, police station, and city hall, we saw many things from Yahaba at the city hall. In the evening, we went to see an American football game, which was very exciting because I had only seen it in movies.

On the 26th, we went to a haunted house and experienced a thrill that we could never feel in Japan.

On the 27th, I gave my first presentation. I was nervous and anxious as I gave my first presentation. I found that I chewed a lot of parts of the speech, but after consulting with Natalie, she taught me how to pronounce the words beautifully, and after about the third time, I was able to do it well without biting most of the words. I also took regular classes, and although there were many difficult problems, I was able to solve them by looking at the numbers and looking them up as I went along. When we did physical education, they used simple words such as "KII!" and "PASS ministry," which was fun.

On the 31st, we went to many educational facilities to hand out Halloween candy to elementary and nursery school children, and we were able to interact with people of various ages and learn more. After school, we dressed up in costumes and visited many houses.

On the last day of school, many people greeted us and we realized that we had fit in. One girl gave me candy and one boy said, "I was able to write kanji well! I was able to write kanji well! I realized that such conversations, day by day, are what builds a friendly sister school relationship.

I think there were many things I could learn and many skills I could acquire

through this dispatch program. For example, I was not used to speaking in English and felt a lot of anxiety, but sometimes I did not know how to express myself in English and ended up making vague sentences. However, I realized that it is surprisingly possible to communicate using only simple words instead of forcing it into a sentence. I felt that it is important not to give up because you don't understand, but how to convey your knowledge and how to challenge yourself to make a conversation work. And there were many opportunities for my personal growth and for my future. I felt that children can communicate with each other and deepen their friendship with each other even beyond their national borders. I hope that this experience will help me in my future life. I would like to thank my host family for welcoming me so warmly despite my anxiety, and everyone involved in the Yakin International Exchange Office for their support.

思い出の 11 日間

矢巾町立矢巾北中学校 2 年 佐々木 莉暖

私は今回のフリモント派遣に参加し、初めての経験をたくさんすることができました。また、多くのことを学ぶことが出来ました。約 13 時間のフライトでシカゴについた時はまだアメリカにいる実感がありませんでした。しかし、どの看板もすべて英語なのを見て徐々に実感が湧いてきました。初めての入国審査はとても緊張し、不安ばかりでし



たがスムーズに通過することができ安心しました。グランドラピッツ空港に着いた時ホストファミリーの方々が温かく歓迎してくれました。英語を上手く話せるか、環境に慣れることができるか、仲良くなることができるかたくさんの不安がありました。フリモントの人達の温かい笑顔や、進んで話しかけてくれた人達のおかげで、これからの 10 日間がとても楽しみになりました。

初めてのホームステイや家族に会う時など緊張することもあったけど、みんなとても歓迎してくれて嬉しかったし、話しかけてくれたので仲良くなれました。分からない英語や伝わらなかった英語もあったけどジェスチャーなどでコミュニケーションを取ることができました。

学校に着いてからは上手くプレゼンテーションができるか上手くコミュニケーションが取れるかなどの不安や緊張がありましたが、その不安や緊張を飛ばしてくれるぐらいたくさんの方々に歓迎してもらいました。歩いていると手を振ってくれたり、話しかけてくれたりとても明るくフレンドリーだと思いました。学校では 10 回近くのプレゼンテーションをしました。日本でたくさん練習をしましたが、それでも 1 回目の発表では、とても緊張しました。発表を始めると、笑顔でしっかり話を聞いてくれる態度を見て、失敗してもいいからやってみようと思うことができました。アクティビティの書道では、みんな楽しんでくれて嬉しかったです。最後は温かい拍手と日本語で「ありがとう」や「楽しかった」と言ってくれたのが心に残っています。プレゼンテーションの回数を重ねていくうちにスムーズに話せるようになり、緊張もなくなって、みんなと一緒に楽しむことが出来ました。

普段の授業も一緒に受けました。体育や美術、歴史、理科などすべて英語だったので内容がよく分からなかったけど、体育でバスケットをしたり、美術で絵を描くことができました。とても楽しかったです。授業の仕方は日本と異なり、プロジェクターでホワイトボードに授業内容を映して先生が何かを書くことは少なかったです。他にもマイクを使っていたこ



とに驚きました。昼食も日本とは異なりました。ホストファミリーの「ペイズリー」がお弁当を作ってくれたりバイキング形式で給食を食べたりしました。給食はメインのご飯はとても少なく、フルーツやアイスなど好きなものを好きなだけ食べることができました。また、時間がしっかり決まっているので手をつけていなくても気にせず捨てていておどろきました。

休日はホストファミリーと外出や食事を楽しみました。特に印象に残っているのは、ミシガン湖に行ったことです。湖なのに海みたいに広く、砂浜もありました。本当に驚きました。他にはハロウィンで使うコスチュームも買いに行きました。たくさんの種類のコスチュームがあり、「さすが本場だな」と思いました。ハロウィン当日は映画などで見た通りでした。コスチュームを着てたくさんの家でお菓子をもらいました。とても楽しかったので日本でもやりたいと思いました。アメリカの料理はどれもボリュームで味も濃かったです。どれもおいしかったのですが、途中でお米が食べなくなりました。



私は今回のフリモント派遣事業を通して、相手が話していることが分からなくても、声のトーンや表情でくみとる力やジェスチャーなどで伝える力がつきました。日本では、思ったことを口にせず察してほしいと思いがちですが、今回フリモントに行って、素直



に気持ちを伝えることが大事だと学びました。今回学んだことをこれからの生徒会活動に活かしてよりよい学校を作っていきたいです。また、毎日送り迎えやご飯を作ってくれたりいろいろなところに連れて行ってくれたりしたフリモントの家族と派遣の準備を手伝ってくれ、派遣中も毎日体調を心配してくれた私の家族。そして、今回のフリモント派遣事業に関わるすべての方々にとても感謝しています。本当にありがとうございました。

11 days of memories

Lenon Sasaki

I went to Fremont. I had many new experiences. I learned a lot. I arrived in Chicago after 13-hour flight. I didn't feel like I was in America yet at that time. But no matter which sign I looked at, it was all in English. When I saw that, I felt like I was in America. I was very nervous about the first. I passed more easily than I thought. When I arrived at Grand Rapids airport my host family warmly welcomed me. I had a lot of concerns about whether I could speak English well and get along well. That anxiety disappeared with a warm smile and I was really looking forward to the ten days.

I felt nervous sometimes during my first homestay. But I was happy that my whole family welcomed me. I was also happy when they talked to me. There were times when I didn't express myself well in English. But I was able to communicate well using gestures and other methods.

When I arrived at school, I felt a lot of anxiety and tension, such as whether I could give a good presentation or communicate well. I was welcomed by so many people that my anxiety and tension disappeared. When I was walking, everyone waved and was very friendly. I gave about ten presentations at school. I practiced a lot in Japan, but I was very nervous the first time. So I thought I'd try by looking at everyone's smiles and paying attention to their listening. I was happy that everyone enjoyed calligraphy. I was happy that they said "Thank you." in Japanese after it was over. As I gave more presentations, I was able to give better ones. I enjoyed the presentation with everyone. I took my regular classes with the other students. I took physical education, art, history, science and other classes. I didn't understand them well because they were all in English, but it was fun to play basketball during physical education and draw pictures during art class. There were many differences from Japanese classes, such as using microphones and projectors. Lunch was very different from Japan. There was a day when Paisley made me a lunch box. I was able to eat as much as I wanted for school lunch. I was surprised that I had to throw away the food I didn't eat because there was no time.

I went out and ate with my family during the holiday. I especially remember that I went to Lake Michigan. It was as wide as the sea. There was also a sandy beach. I also went to buy costumes for Halloween. There were many kinds of costumes. Halloween day was just like what I saw in the movies. I wore a costume and got a lot of snacks. I really enjoyed myself. All American food had large portions and a strong flavors. Everything was very delicious. But I wanted to eat rice.

I went to Fremont and I had the strength to try to understand the other person even if I didn't know what they were saying. I also learned how to convey meaning through gestures and other methods. I learned that it is important to convey your feelings honestly. I want to make use of what I learned this time from now on. I am grateful to my family in Fremont for picking me up, cooking, and taking me to various places every day. I am very grateful to my family in Yahaba and everyone involved in this homestay who took care of my health and prepared a lot every day while I was in Fremont. Thank you very much.

フリモント派遣事業を通して

矢巾町立矢巾北中学校 2年 藤原 小瑚

今回のフリモント派遣事業を通して私はたくさん成長することができました。

10月24日から11月3日までの約11日間アメリカのフリモントで過ごし、いろんなことを学ぶ事ができました。

1日目、約13時間の飛行機に乗り、シカゴ空港に着きました。初めはアメリカに着いたという実感はありませんでした。しかし、周りにいる人達が英語を喋っていたり、書かれている文字が英語だったりして段々と実感がわいてきました。アメリカに着き、入国審査をしました。入国審査をする寸前までたくさん練習しました。とても緊張したけど、あまり質問されず、スムーズに通ることができました。アメリカで初めてお金を使い、空港でサンドイッチを買いました。初めてだったのでお金をいくら出したらいいいのかわからなかったけど、店員さんや先生が教えてくださり、無事買うことができました。そこから、また飛行機に乗り、グランド・ラピッズ空港に行きました。空港に着いたらみんなのホームステイ先の子たちがお迎えに来てくれていました。車に乗り、一度学校まで行ってからお家に行きました。お家に着いてから日本から持ってきたお土産を渡しました。飴や紙風船などが喜ばれました。

2日目、学校に行き歓迎会をしてもらいました。高校のブラスバンドの演奏をききました。そして、服や水筒などたくさんのプレゼントを貰いました。その後、市長さんのところに行きました。警察署や消防署も見学しました。その後、アートプレイスに行って陶器に絵の具を塗りました。みんなでご飯も食べました。そして、ゲームセンターに行って遊びました。高校の見学にも行きました。夜にフットボールを見に行きました。

3日目、ホストファミリーと一緒にモールに行きました。ハロウィンのコーナーがたくさんありました。その後、ミシガン湖に行きました。海みたいに広くて綺麗でした。夜におばけ屋敷のようなところに行きました。人が多くて2時間ぐらい並びました。叫んじゃうくらい怖かったけど、楽しかったです。

4日目、ミニゴルフをしました。初めてで難しかったけど、楽しかったです。その後に馬のワゴンのようなものに乗っているいろんな動物を見ました。日本では滅多に見えないヤギやヘラジカなどを見ることができました。そこでは、ドーナツやりんごジュースを作っていて、そこで食べました。外にはたくさんのかぼちゃが置いてありました。

5日目、学校に行き、体育、数学、国語の授業を受けました。朝でもまだ暗かったです。体育や数学をしました。みんなのプレゼンも聞いたりしました。昼ご飯は学校の給食を食べました。そして、午後アメリカで初めてのプレゼンをしました。動画が流れなかったり、初めてで緊張して少し早くなってしまったりしました。放課後はみんなでかぼちゃのランタン



作りをしました。みんなで協力しながら作ってとても楽しかったです。焚き火を炊いてみんなで集まってあったまりながら、焼きマシュマロやホットドックを食べたりしました。

6日目、学校に行って、プレゼンをしたり、美術や理科の授業を受けました。お昼はアディソンのバレーボールのパーティーがあったのでそれについていきました。色んな子とお話することができて良かったです。放課後にいろんなお店を見に行きました。ウォルマートに行って、お土産も買いました。その後に、アディソンのソフトボールの練習を見に行きました。

7日目、学校に行き、国語や歴史、タイピング、理科の授業を受けました。プレゼンがだんだんとスラスラできるようになってきました。放課後には、ハロウィンの仮装を買いました。その後、ボウリングに行きました。ボウリングはあまりやったことがなかったけど、楽しくできました。



8日目、小学校に行って折り紙を教えたり、質問コーナーをしたり、じゃんけん大会をしたりしました。昼ご飯は小学校の給食を食べました。その後、幼稚園に行きました。幼稚園では、幼稚園児にお菓子を配りました。放課後にペイズリーの家に行って、仮装の準備をしました。準備が終わってからお菓子を貰いに行きました。「トリック・オア・トリート」と言いながらお菓子を貰いました。

9日目、学校に行く最後の日でした。体育、国語、歴史の授業を受けました。プレゼンもスラスラ進めることができて、アクティビティに時間を使うことができました。放課後にはお世話になった学校を回って、たくさん写真を取りました。そして、体育館でハロウィンのダンスパーティーをやっていたので行きました。みんなで楽しんでいる姿を見て、日本でもみんなで楽しめるような行事がしたいと思いました。放課後は、ナタリーたちと一緒に出かけに行ったり、ウォルマートに買い物に行ったりしました。おそろいのネックレスも買うことができたので良かったです。ナタリーの家に着いて、馬に乗らせてもらいました。たくさんの動物がいてすごかったです。みんなで風船でバレーボールをしたり、ジェンガをしたりしました。

10日目、朝早くに学校に送ってもらいました。今までお世話になったホストファミリーとのお別れはとても悲しかったけど、楽しく充実した時間を過ごすことができました。そこから約13時間の飛行機に乗り、日本に帰ってきました。

この約11日間で私は、自分で「こうしたい」ということを伝えたり、初めて話す子と笑顔で話すことができるようになりました。これからは、今回アメリカに行き、学んだことを日本でも伝えて行けるようにしたいです。

My experience through the Fremont Exchange Program

Coco Fujiwara

I was able to grow a lot through this Fremont visit. I spent about 11 days in Fremont, America, from October 24th to November 3rd, and I was able to learn many things.

On the first day, I took a plane for about 13 hours and arrived at Chicago Airport. At first, I didn't feel like I had arrived in America. However, as I saw people around me speaking English and the English signs, I gradually started to realize it. After arriving in America, I went through immigration. I practiced a lot until just before the immigration check. I was very nervous, but I wasn't asked many questions and was able to pass through smoothly. I used money for the first time in America and bought a sandwich at the airport. It was my first time, so I didn't know how much money to pay, but the shop assistant and the teachers helped me, and I was able to buy it without any problems. From there, I took a plane again and went to Grand Rapids Airport. When I arrived at the airport, the host students were there to welcome us. We got into a car and went to the Fremont Middle School first, and then to my home-stay. After arriving there, I gave them the souvenirs I had brought from Japan. They were happy to receive candy and paper balloons.

On the second day, We went to school and they held a welcome party for us. We saw a performance by the Fremont High School brass band and received a lot of presents, such as clothes and a water bottle. After that, we visited the mayor's office, the police station and the fire station. We also went to an art place and painted pottery. We all had lunch together. And we went to an arcade and played games there. We also visited Fremont High School. At night, I went to see a football game with my host family.

On the third day, I went to the mall with my host family. There were many Halloween corners. After that, we went to Lake Michigan. It was big and beautiful like the sea. At night, we went to a place like a haunted house. There were many people so we had to wait in line for about two hours. It was so scary that I screamed, but it was fun.

On the fourth day, I played miniature golf. It was my first time and it was difficult, but it was fun. After that, I rode in something like a horse-drawn wagon and saw various

animals. I was able to see goats and elk, which are rarely seen in Japan. They were making donuts and apple juice there, and we ate them there. There were many pumpkins outside.

On the fifth day, I went to school and took classes in physical education, math, and Japanese. It was still dark in the morning. I did physical education and math. I also listened to everyone's presentations. For lunch, I ate the school lunch. And in the afternoon, I gave my first presentation. The video didn't play, and because it was my first time, I was nervous and spoke a little too fast. After school, we all made pumpkin lanterns. It was very fun making them together. We made a bonfire, gathered around it, and ate roasted marshmallows and hot dogs.

On the sixth day, I went to school, gave a presentation, and took classes in art and science. At lunchtime, there was a volleyball party at Addison's, so I went with them. It was good to be able to talk with various people. After school, I went to see various shops. I went to Walmart and bought souvenirs. After that, I went to see Addison's softball practice.

On the seventh day, I went to school and took classes in Japanese, history, typing, and science. I gradually became able to give presentations smoothly. After school, I bought a Halloween costume. After that, I went bowling. I hadn't played bowling much, but I was able to enjoy it.

On the eighth day, I went to elementary school and taught origami, had a question corner, and played rock-paper-scissors. For lunch, I ate the elementary school lunch. After that, I went to kindergarten. At the kindergarten, I handed out candy to the kindergarten kids. After school, I went to Paisley's house and prepared for Halloween. After the preparations were finished, we went to get candy. We got candy while saying "Trick or Treat."

On the ninth day, it was my last day of going to school. I took classes in physical education, Japanese, and history. I was able to give my presentation smoothly and had time to use for activities. After school, I went around the school that had taken care of me and took many pictures. And since they were having a Halloween dance party in the gym, I went there. Seeing everyone having fun, I thought I wanted to have an event in Japan that everyone could enjoy. After school, I went out with Natalie and others, and went shopping at Walmart. I was glad that I was able to buy a matching necklace. When

I arrived at Natalie's house, they let me ride a horse. There were many animals and it was amazing. We all played volleyball with a balloon and played Jenga.

On the tenth day, I was taken to school early in the morning. Saying goodbye to the host family who had taken care of me until now was very sad, but I was able to spend a fun and fulfilling time. From there, I took a plane for about 13 hours and returned to Japan. During these 11 days, I became able to express what I wanted to do and to talk with a smile to children I was meeting for the first time. From now on, I want to be able to share what I learned in America with people in Japan.





矢巾町国際交流協会

住 所

〒028-3692

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅 13-123

事務局

矢巾町教育委員会事務局 文化スポーツ課

TEL 019-697-2161

FAX 019-697-5581